



特定非営利活動法人

発行：2016年 6月 10日  
発行責任者：飯沼 一宇  
仙台市青葉区中央 2-7-30 角川ビル 402

# 子どもの村東北

News Letter Vol.14

## 「開村2年目を迎えて」

村長 今野 和則



### 村の状況

開村から1年が経過したこの1月、3棟の家族の家すべてに、念願の育親が揃いました。現在のところ、震災孤児を含めての長期養育の子どもたち5人が、村で生活をしています。

この他に、一時預かりの子どもは、すでに延べ15人。この1年間で合計すると、20人の子どもたちを受け入れたこととなります。特に、学校の長期休業中や、連休の時期に、村は賑やかになるのです。

さらに、ご案内のとおりこの1年は、「子どもの村東北」の存在を広く知っていただくため、様々な活動を行ってきました。杜のホールを活用してのチャリティーコンサート。里親をはじめ地域の方々や、子どもたち対象の学習会や創作活動。そして、全国からの見学者の受け入れ。今年の1月には、来村者の数が2,000名を超えました。

### 近隣からの励まし

村長は、今年度町内会の班長になりました。過日、町内会費の集金でご近所を訪問しました。至らぬ班長でご迷惑をかけていますと、ご挨拶しながらの巡回でしたが、「歩道の除雪で助かっています」「公園の木まで剪定していただいて、ありがとうございます」「村の花がきれいですね」との声をいただきました。



大雪に見舞われた冬を過ごし、梅の開花に喜び

それもこれも、私たちの力だけでなく、村にご協力をいただいているボランティアの方々のお力があってのことです。今朝も、朝8時になると、村内の芝生の整備にKさんが来村。過日は、笛やしいたけを持参でOさんが。ありがたい限りで、感謝の日々です。



進級進学など、家族ごとの春を迎えました

### 子どもと共に育つ

そもそも「子どもの村東北」は、震災孤児の受け入れを最優先に考えてきました。その孤児たちの中には、思春期を迎えようとしている子もいます。したがって、受け入れ対象となる子どもたちの年齢幅は、かなり広いものとなっています。特に、様々な課題を抱える思春期の子どもたちへの対応については、多くを学ぶ必要があります。

昨年度は、開村したばかりということもあり、「子どもの村東北」の存在を理解していただき、ご支援を仰ぐと言うことに重きを置いてきました。それに対して今年度は、村の内部を固めることに重点を移したいと考えています。内容は、村内研修とミーティングの充実です。すでに5月から、スタッフや里親等が対象の「すこやか子育て講座」(7回シリーズ)が、村内の杜のホールで開催されています。家族の家ごとのファミリーミーティングも毎週定例で行っています。

「子どもと共に育つ!!」。まさにこれが合い言葉になる1年にしたいものです。どうか、引き続きご理解とご支援を、よろしくお願いいたします。

## 村を訪問してくださった方の中から



5月19日  
キリングroup  
労働組合協議会  
地域ぐるネット東北  
の皆様が来村

キリングroup労働組合協議会地域ぐるネット東北の皆様が、地域貢献のために毎年行われている「愛のキャンパ寄贈活動」の贈り先に子どもの村東北を選んでくださいました。贈られた品は、村の子どもや地域の子どもが使えるボールプールやバランスボールなど10点。地域ぐるネット東北を代表して議長の森山正彦様（キリンビールマーケティング株式会社）、洞口俊之様（仙台キリンビバレッジサービス株式会社）、伊藤隆二様（協和発酵キリン株式会社）の3名にお越し頂き、今野村長から感謝状をお渡しいたしました。

また、「子どもたちにとってかけがえのない家庭を築くための里親の教育や各家庭へのフォロー体制のご説明をいただきました。児童養護施設での養育が主流の日本国内において、『親や家庭の愛情』を重視されている村の取組には大変感銘を受けました。これからも、子供たちの健やかなご成長を心より祈念しております。」との感想をいただきました。

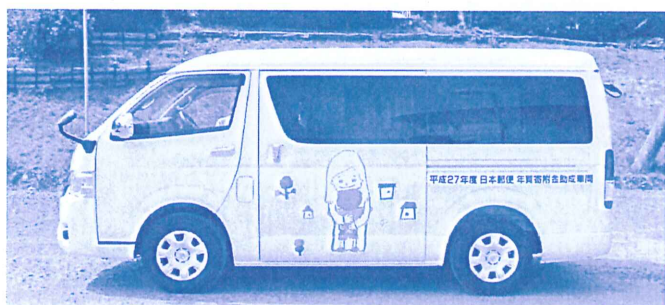


5月24日  
宮城中央ヤクルト  
販売の永富社長が  
昨年引き続き来  
村されました

5月24日には宮城中央ヤクルト販売株式会社の永富淳次社長と広報担当の片岡恵様にご来村いただきました。宮城中央ヤクルト様は、2013年から毎年継続してご寄付を届けて下さっています。このご寄付は、会社に設置して下さっている募金箱へのヤクルトレディー様等による募金や、自社の自販機の売上から1本あたり1円を毎年寄付して下さっているものです。飯沼理事長から、昨年お越しいただいた頃より育親が1名増え、子どもが2名増えて5名になったことなどをご報告させていただきました。

永富社長からは「1年ぶりに訪問したが、訪問するたびに成長を感じる。継続した支援が大切だと考えている。地域のみなさまとのふれあいの場にもなっていると感じており、地域の方と共に温かい家庭を築いて欲しい。」とのメッセージをいただきました。このような地元企業のみなさまからのご支援が広がっております。

## 村だより



### ハイエース大活躍中！

昨年夏、待望の車が村に納車されてから、早いもので2度目の夏を迎えようとしています。村の愛車は、「お母さんとぼく」のイラストが目印のトヨタハイエース10人乗りです。子どもと育親さんを乗せて、北に南に駆け回っています。子どもの元気な声と笑顔に包まれる車内の雰囲気、新たな家族の確かな成長を実感する今日この頃です。

センタースタッフ 菅原温

## 理事リレーコラム 「太白山のふもとから」

理事長 飯沼 一字

5月13～15日に札幌で開催された日本小児科学会学術集会に参加した。学会会長（わが国の小児科界のトップ）の特別講演は「日本の子どもの貧困とそれによる健康被害・・・」というものだった。内容をかいつまむと、わが国の子どもの相対的貧困率は16.3%で、子どもへの公的支出はGDPの1.3%という。国の社会保障費、年金、医療費その他の支出は、65歳以上の高齢者：20歳未満の小児＝18：1である。このことから貧困状態にある子どもたちは社会的に排除され、可能性が阻害されている。子どもの貧困を解消する力を小児科医は持たないが、「成育基本法」が成立すれば、子どもに関する様々な施策を内閣府に答申できる。

私たち、「子どもの村東北」の活動は、震災孤児はもとより、現在社会問題視されている、子どもの貧困とそれに派生する虐待、育児不能・不適などで生活が苦になっている子どもに微力を尽し、家庭的生活を与えることである。私たちの力はまだまだ弱い。しかし、小児科医でもある私は、学界のトップの呼びかけに「我が意を得たり」と思って帰仙した。

## 山崎さん、家庭養護って何ですか？

### 先進国の中では遅れている日本の家庭養護



山崎 剛（やまざき たけし）  
臨床心理士。元宮城県中央児童  
相談所長。現在、みやぎ心のケア  
センター副センター長。「子どもの  
村東北」理事。

保護者がいない児童や、保護者に養育されることが不適当である児童を「要保護児童」と言います。不適切な養育の典型が児童虐待ですが、虐待を初め保護者から適切な養育を受けられない子どもが増えています。この「要保護児童」を、家庭に代わって、公的責任で養育するしくみを「社会的養護」と呼んでいます。社会的養護には、子どもを児童福祉施設

で育てる「施設養護」と、里親またはファミリーホーム（里親家庭で6人までの子どもを養育する制度）で育てる「家庭養護」があります。

社会的養護を充実させるためには、「子どもの最善の利益のために」という考え方と、「社会全体で子どもを育てる」という考え方の、二つの理念が大切だと言われています。

いま日本で、様々な施設や里親に委託されている、いわゆる「社会的養護を受けている子ども」は、約46,000人います（平成27年3月末現在）。この内、約30,000人の子どもが乳児院、児童養護施設で暮らしています（その他の施設で約10,000人）。また、「家庭養護」である里親とファミリーホームで、約6,000人の子どもが養育されています。両者を合わせると約36,000人になりますが、その内、里親・ファミリーホームに委託されている子どもの割合、「里親委託率」は約16%です。日本では、社会的養護を必要としている子どもの多くは施設で生活していることとなります。

一方、外国に目を転じると、制度の違いはありますが、多くの国で、施設より里親委託が多いという特徴があります。例えば、イギリスでは里親が約60%、米国では約75%になっています。日本はどちらかという施設養護に依存しすぎている、と指摘されています。

子どもを実の親に代わって育てるという代替養育に関する国連のガイドラインでは、「子どもはまず、実親家庭で育てられるように、社会制度や支援システムを整えること。どうしても不可能な場合は、できるだけ代替りの家庭を提供して養育すること」という原則が書かれています。

日本が子どもの権利条約に批准した後、国連子どもの権利委員会は、日本の施設養護中心の現状について、「代替養育はできるだけ、里親家庭やファミリーホームなどの家庭的養育により行うように」勧告しています。

国は2011（平成23）年に、具体的な数値目標を掲げて、施設の小規模化と家庭養護推進の方針を打ち出しました。

次の年、厚生労働省は各都道府県に、家庭養護を推進する計画を立てるように通知し、これを受けて、宮城県の場合は、2013（平成25）年に里親・ファミリーホームに委託している30%の児童を、2019（平成41）年までには53%まで増やす計画を立てました。

### 子どもが育つために必要な養育者との深いかかわり

そもそも、なぜ家庭養護の方がいいといわれるのでしょうか？これは、第二次世界大戦後、2人の学者が発表し世界に広まった研究が参考になると思います。

一つは、R・スピッツの研究です。20世紀に入ってから、長年、乳児院などの施設に入所している子どもたちの死亡率が高く、心身の発達障害がみられることが問題になっていました。施設病とも言われています。スピッツは、この原因が、栄養の欠如とか医療設備の不備とかいうことより、大人の世話が少ないことにあることを突き止めました。

その後、J・ポールビーが、精神的に健やかに育つためには、乳幼児と母親、特定の養育者との間に、暖かで親密な人間関係を継続的に築く必要があることを研究し、「アタッチメント＝愛着」と呼ばれるようになりました。愛着とは、特定の養育者との親密で継続的な関係を指します。

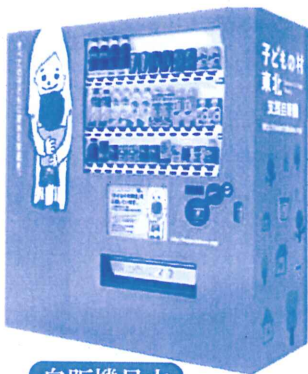
子どもが長期間施設で生活すると、特定の養育者が継続して養育することは難しくなります。乳児院は、原則乳児（1歳未満の赤ちゃん）を養育する施設です。事情があれば6歳まで入所させることはできますが、いずれ児童養護施設などの他のところに居住場所を変えなければなりません。当然子どもの養育者も替わります。また、施設では、勤務交代などもあり、特定の職員が18歳までの間、永続的に養育するのは簡単ではありません。子どもからすれば、その都度「親が替わる体験」をすることになります。私たちが実の親と生活している場合、このようなことはほとんどありえないことです。愛着が形成される乳幼児には、特に家庭養護が大切だと言われるゆえんです。

### 宮城に根づいていた里親文化を取り戻す

里親を増やすといっても簡単なことではありません。戦後、戦災孤児が多くいた時代、宮城県には、約1,000人の社会的養護の子どもがいました。その内約500人が施設で、約500人が里親に養育されていました。戦後の高度成長と共に里親は急激に減りましたが、宮城県にはこのように、家庭に恵まれない子どもを、親の代わりに育てる里親文化の歴史があります。時代は変わりましたが、このような歴史も理解した上で、里親を増やしていく工夫が必要だと思います。さらに、家庭養護には、里親を支援する体制整備がセットで必要だということを理解しておく必要があります。最近の社会的養護を必要としている子どもは、夫婦間の暴力（DV）にさらされていたり、虐待を受けて心の傷を深く負っていたり、発達障害を持っていたり、というように、里親が専門的支援を受けながらでないと、養育がむずかしい、という特徴があります。それが不十分であるときには、里親家庭での虐待が問題になることもあります。

今回は、子どもの権利を踏まえながら「子どもの村東北」が取り組むべきことについてお話しします。

## ☒ 子どもの村東北支援自動販売機の設置先を探しています



自販機見本

子どもの村東北では、コカ・コーライーストジャパン(株)と共同で「子どもの村東北支援自動販売機」を展開をしています。この自販機による清涼飲料水の売上の一部が子どもの村東北の運営資金となります。現在 11 基が設置されていますが、さらなる設置先を探しています。

現在展開できるエリアは、宮城県・山形県・福島県・東京都・神奈川県・静岡県・山梨県・愛知県・岐阜県・三重県・埼玉県・群馬県・新潟県・千葉県・茨城県・栃木県と広いエリアに拡大しました。既設の自販機を切り替えるのではなく、新規・増設でのご検討をお願いしています。皆様の知人友人、勤務先、行きつけの飲食店など、広くお声をかけて頂けますと幸いです。関心を示してくださる方の情報を法人事務局までご連絡いただければ、こちらから詳しいご説明をさせていただきます。ぜひご紹介ください。よろしくお願いたします。

### 【設置先のご紹介】

おかしときっさ confectionery たまごや(鳴子温泉)・東北福祉大学(仙台市)・キーパープロショップハイブリッド(利府町)・わたなべ歯科医院(埼玉県)・ワンズビレッジ(仙台市)・尚絅大学(仙台市)・パールライス宮城(仙台市)・焼肉八兆(鳴子温泉)・ショーボンド建設(仙台市)・公立黒川病院(大和町)・岩城商店(仙台市)

## 〇〇〇 支援会員の皆様へご継続のお願い

事務局では、支援会員の皆様で前年のお振込みから 1 年以上経過した方に、ご継続のお願いをしておりますが、厳しい財務状況の折り、お早目にご継続頂けますと幸いです。振込用紙を同封いたしますのでご活用ください。よろしくお願申し上げます。既にご継続済みの方には度重なるお知らせとなることお詫びいたします。

### ◆ご支援いただいた企業・団体のみなさま (2016.1.28 ~ 5.31)

株式会社アルファ-企画、社会福祉法人地域サポート虹後藤京子、株式会社人來田興産、三井住友海上火災保険株式会社、宮城県小児科医会、株式会社MAT(ワンギテック(台湾)日本支社)、成和建装株式会社、コカ・コーライーストジャパン株式会社、医療法人社団章仁会くさかり小児科、有限会社白川牛肉店、日本キリスト改革派白石契約教会、長谷幼稚園保護者会、林間聖バルナバ教会お仕事会、浜松海の星幼稚園、仙台市シルバーセンター内豊齢さんもく会ボランティア、dialog 阿部智志、暖愛フロムシリコンバレー、株式会社石巻精機製作所、プロスペクト株式会社、羽ばたこう「子どもの村東北」支援実行委員会、日本キリスト教団巣鴨ときわ教会、一般社団法人宮城県法人会連合会女性部会連絡協議会、センコー株式会社東北主管支店、医療法人すどう小児クリニック、ふるさと怪談トークライブ、国際ソロプチミスト奈良-まほろば、PHP のつどい IN 東京、株式会社仙台銘板、ノートルダム清心女子大学附属小学校、SAVE SENDAI 311、宗教法人東大寺、仙台パイロットクラブ、暮らしに押しばなをの会、FMCCふくおは「笑顔ひとつずつプロジェクト」、鳥取福音ルーテル教会 ミュージックエコー、めぐみ幼稚園、トヨタカラー宮城株式会社、カシオ計算機株式会社、新日本製薬株式会社、きずなプロジェクト in はつかいち実行委員会、あの日を忘れない！私たちの小さな力と大きな笑顔で日本を元気に Vol. 4、東九州短期大学幼児教育学科平成 27 年度卒業生一同、Freundeskreis Tsunami-Waisen KIBOU e.V、「子どもの村東北」支援チャリティコンサート実行委員会(相模原)、クリニック飯塚、株式会社ホームユニバース、子育て支援グループドリームエル、チャリティーコンサート for 仙台実行委員会、公益社団法人仙台中法人会女性部会、福岡おかあさんコーラス連絡会、ふるさと怪談トークライブ事務局、宮城中央ヤクルト販売株式会社、雪んこまつり実行委員会、沼津から ALOHA を届けよう！実行委員会、国際ソロプチミスト高岡

\*敬称略・順不同

### ◆支援会員

\*個人会員 832 名

\*団体会員 65 企業・団体

2016年5月31日現在

特定非営利活動法人 **子どもの村東北**

法人 事務所 〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-7-30 角川ビル 402  
TEL: 022-748-6936 FAX: 022-748-6931

【子どもの村 センターハウス】  
〒982-0252 仙台市太白区茂庭台 2 丁目 16-9-1  
TEL: 022-281-9653 FAX: 022-281-9659  
E-mail: center-t@cvtohoku.org

E-mail: info@cvtohoku.org